

令和5年8月2日 令和5年度甲賀市地域安全安心ネットワーク会議

資料5

# 子ども・若者の自殺予防対策について

甲賀市自殺予防対策ネットワーク会議（すこやか支援課）

# 目次

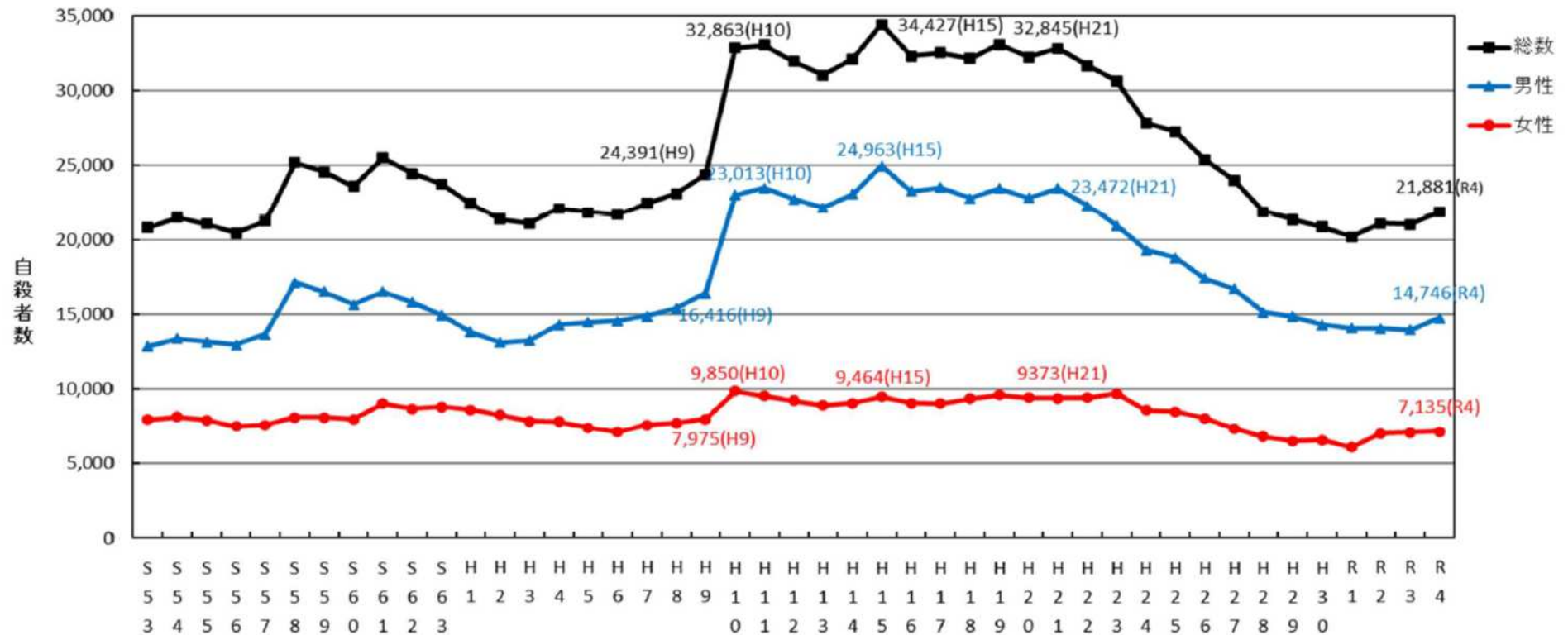
1. 自殺者の状況について
2. 子ども若者の課題（国・県の動向）
3. SOSの出し方に関する教育とは
4. 甲賀市の子ども若者への支援について
5. まとめ  
（子ども・若者の自殺対策のさらなる強化・推進について）

# 自殺者数の年次推移

○令和4年の自殺者数は21,881人で、前年に比べ874人(4.2%)増。

○男女別にみると、男性は13年ぶりの増加、女性は3年連続の増加となっている。また、男性の自殺者数は、女性の約2.1倍となっている。

(単位:人)



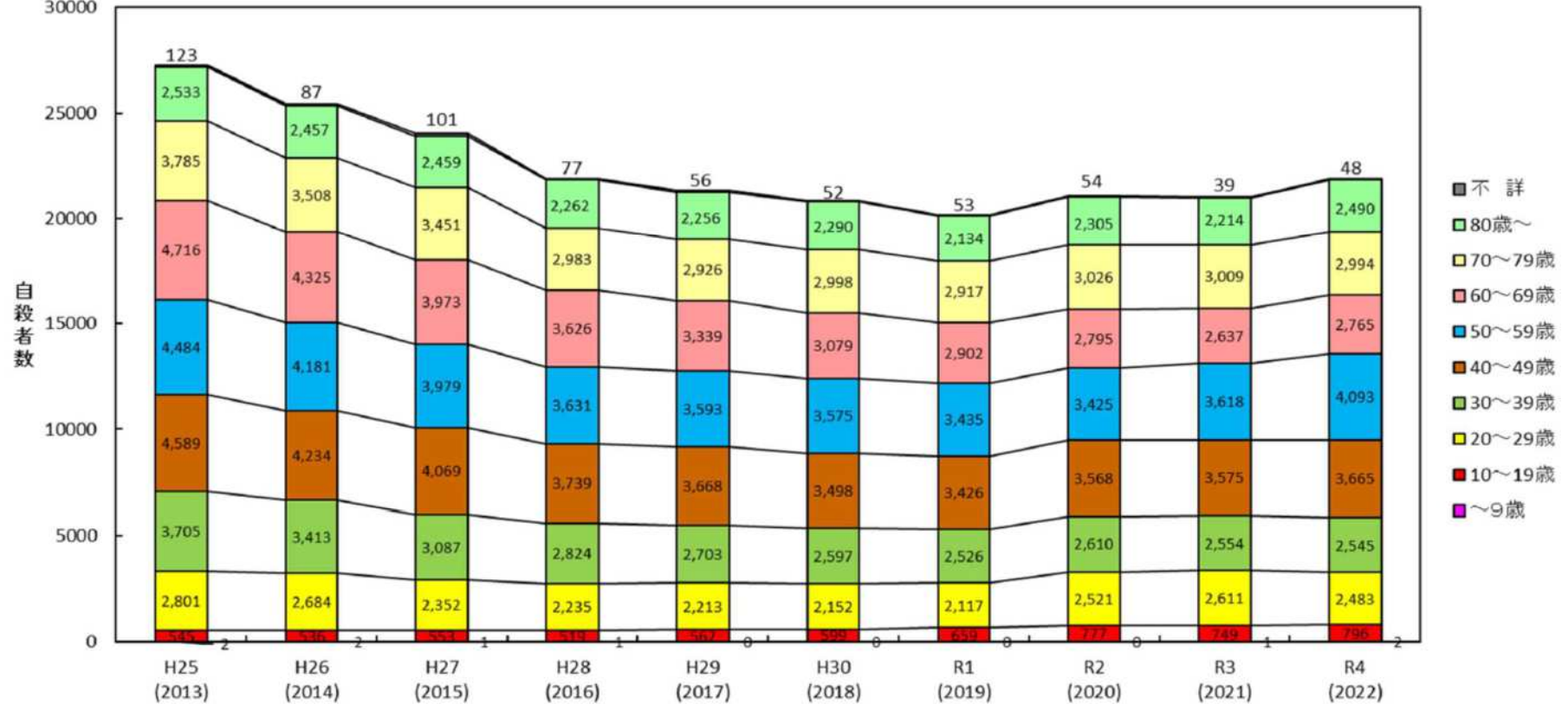
資料:警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

# 年齢階級別自殺者数の年次推移

○令和4年は令和3年と比較して、20歳代、30歳代及び70歳代以外の各年齢階級で増加した。

○増加した年齢階級の中では、50歳代が最も大きく増加し、475人の増加となった。一方、減少した年齢階級の中では、20歳代が最も大きく減少し、128人の減少となった。

(単位:人)  
30000

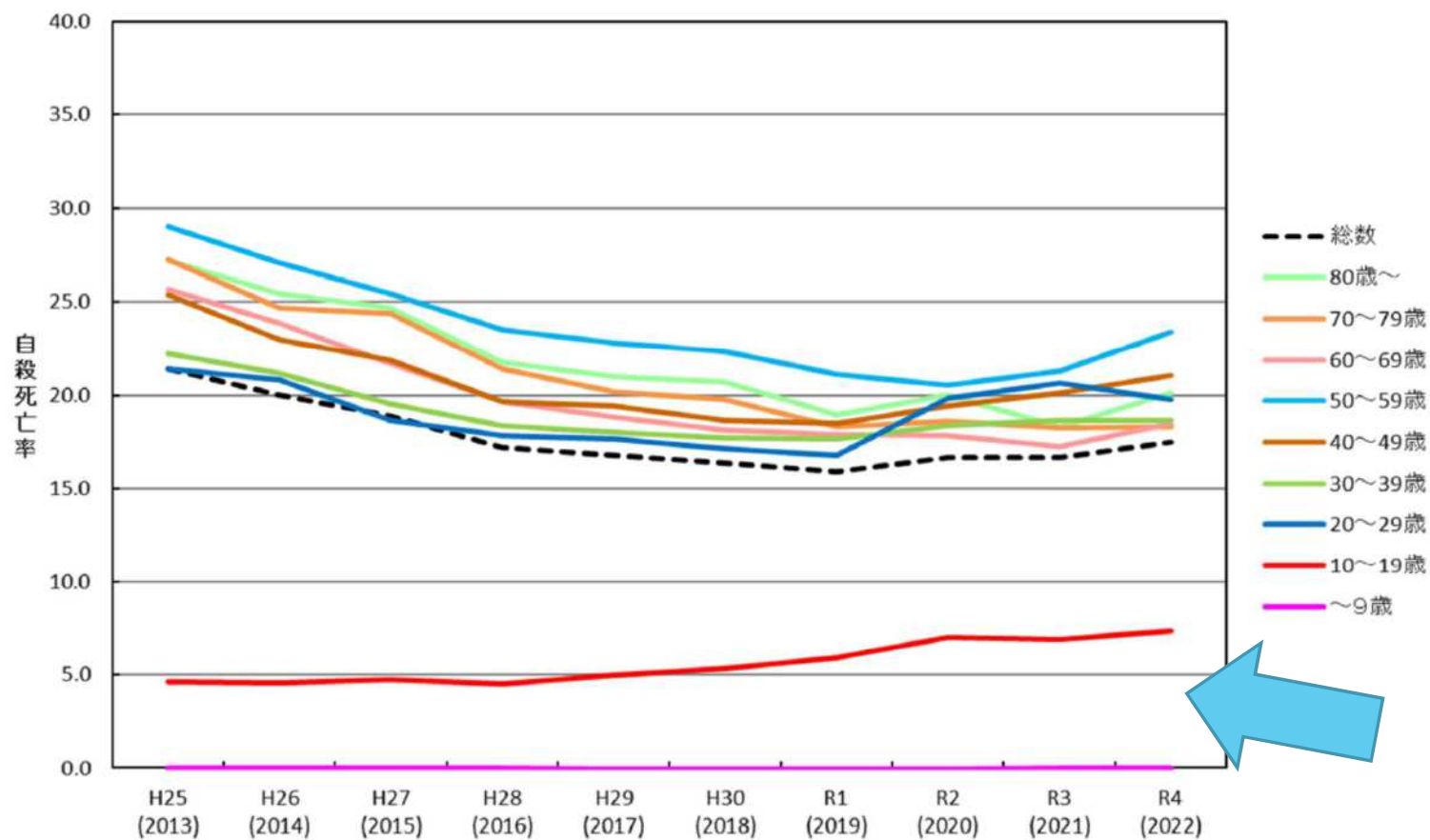


資料:警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

## 年齢階級別自殺死亡率の年次推移

○令和4年は令和3年と比較して、20歳代のみ低下した。

○令和4年は令和3年と比較して、50歳代及び60歳代で大きく上昇し、それぞれ2.1ポイント、1.2ポイントの上昇となった。

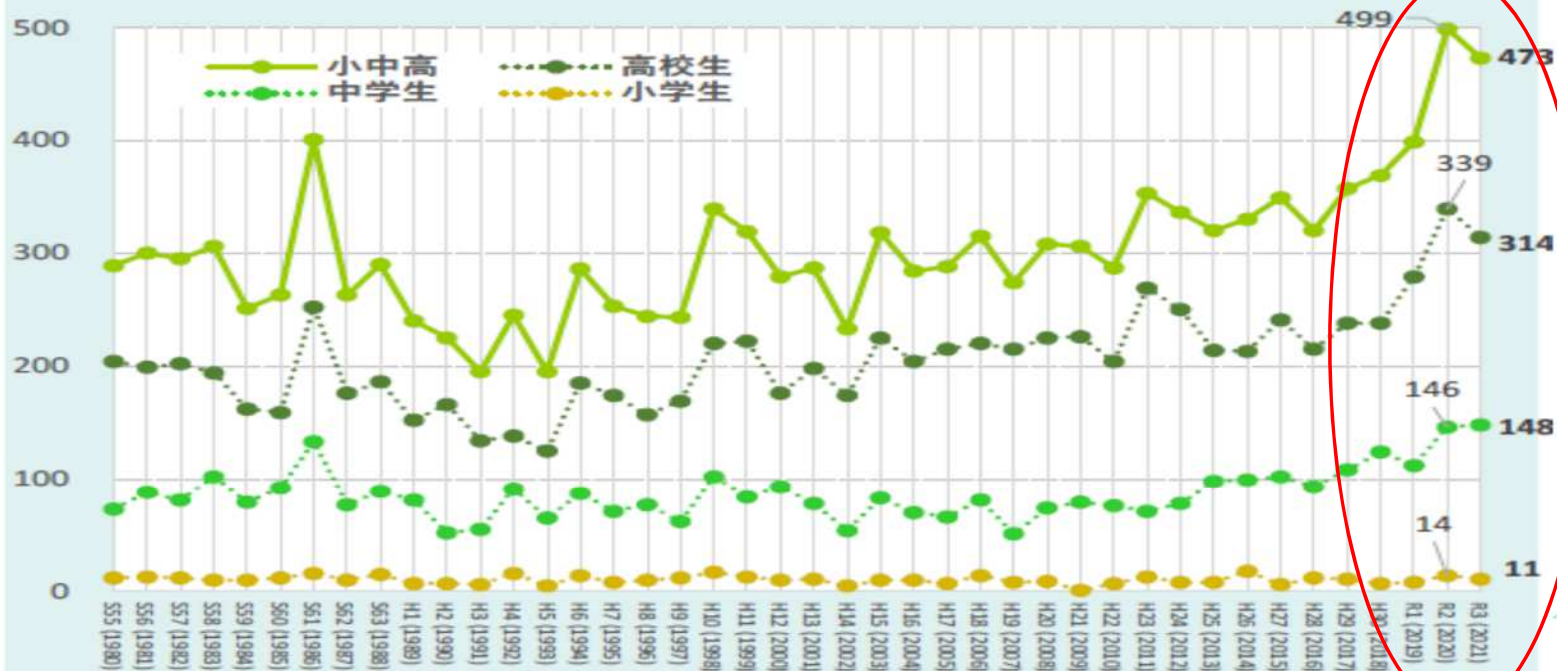


資料：警察庁自殺統計原票データ、総務省「人口推計」及び「国勢調査」より厚生労働省作成



## 小・中・高生の自殺者数の推移

- 小中高生の自殺者数は、自殺者総数が減少傾向にある中でも増加傾向となっている。
- 令和2年には小中高生の自殺者数が過去最多となり、令和3年には過去2番目の水準となった。



※警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

# 死因順位別にみた滋賀県の 年齢階級別死亡数・構成割合

25滋賀県

年齢階級	第1位			第2位			第3位		
	死因	死亡数	割合	死因	死亡数	割合	死因	死亡数	割合
10～19歳	自殺	36	41%	不慮の事故	19	22%	悪性新生物	15	17%
20～29歳	自殺	133	54%	不慮の事故	33	13%	悪性新生物	23	9%
30～39歳	自殺	157	39%	悪性新生物	103	26%	不慮の事故	38	10%
40～49歳	悪性新生物	347	34%	自殺	195	19%	心疾患	121	12%
50～59歳	悪性新生物	840	43%	心疾患	265	13%	自殺	185	9%
60～69歳	悪性新生物	2701	50%	心疾患	671	12%	脳血管疾患	331	6%
70～79歳	悪性新生物	5366	42%	心疾患	1637	13%	脳血管疾患	828	7%
80～89歳	悪性新生物	6321	26%	心疾患	3779	16%	脳血管疾患	1810	8%
90～99歳	心疾患	3669	20%	老衰	3414	18%	悪性新生物	2442	13%
100歳～	老衰	583	38%	心疾患	296	19%	脳血管疾患	82	5%

## 子ども・若者の自殺の課題

- ・自殺者数が近年、全体としては低下傾向にあるものの小・中・高生の自殺者が増えている。特に高校生の割合が高い。
- ・若年層の死因に占める自殺の割合が高い。



自殺対策基本法に「学校におけるSOSの出し方」に関する教育の推進が盛り込まれる。



## ◎ 自殺総合対策大綱（令和4年10月閣議決定）

自殺総合対策大綱は平成18年に成立した自殺対策基本法に基づき政府が推進すべき自殺対策の指針と定めているもの

### 【重点項目】

1. 子ども・若者の自殺対策の更なる推進・強化
2. 女性に対する支援の強化
3. 地域自殺対策の強化
4. 総合的な自殺対策の更なる推進・強化

## ◎ 滋賀県自殺対策計画（令和5年3月改定）

### 【重点項目】

1. 子ども・若者の自殺対策をさらに推進する
2. 自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ
3. 自殺総合対策の推進に資する調査研究を推進する

# SOSの出し方に関する教育

自殺総合対策大綱（令和4年10月閣議決定）より

- 学校において、命や暮らしの危機に直面した時に、誰にどうやって助けを求めればよいのかの具体的なかつ実践的な方法を学ぶ。
- つらいときや苦しいときは**助けを求めてもよい**ということを知る。
- 問題の整理や対処方法を身に付けることができれば、それが「**生きることの促進要因**（自殺に対する保護要因）」となり、学校で直面する問題や、その後の社会人として直面する問題にも対処する力、ライフスキルを身に付けることにもつながると考えられる。

## 自殺のリスクが高まるとき

生きることの  
促進要因

- 将来の夢
- 家族や友人との信頼関係
- やりがいのある仕事や趣味
- 経済的な安定
- ライフスキル（問題対処能力）
- 信仰
- 社会や地域に対する信頼感
- 楽しかった過去の思い出
- 自己肯定感 など



生きることの  
阻害要因

- 将来への不安や絶望
- 失業や不安定雇用
- 過重労働
- 借金や貧困
- 家族や周囲からの虐待、いじめ
- 病気、介護疲れ
- 社会や地域に対する不信感
- 孤独
- 役割喪失感 など

いのち支える自殺  
対策推進センター、  
自殺対策概要より  
抜粋

## 自殺総合対策の基本方針

1. 生きることの包括的な支援として推進する  
〈社会全体のリスクを低下させる〉

〈生きることの阻害要因を減らし、促進要因を増やす〉

個人においても社会においても「生きることの促進要因（自殺に対する要因）」より「生きることの阻害要因（自殺のリスク要因）」が上回った時に自殺のリスクが高くなる。

そのため、「生きることの阻害要因」を減らす取組に加えて、「生きることの促進要因」を増やす取組を行い、双方の取り組みを通じて自殺リスクを低下させる



# 甲賀市では地域の相談機関を知ってもらうために 市内中学3年生、高校3年生に配布



## こころやからだの不調相談

- 甲賀市すこやか支援課  
(TEL 0748-69-2168)  
月曜日～金曜日  
8:30～17:15  
(土・日・祝日除く)

## 子どもの悩み

- 甲賀市家庭児童相談室  
(TEL 0748-69-2177)  
月曜日～金曜日  
8:30～17:15  
(土・日・祝日除く)

- 24時間子どもSOSダイヤル  
(TEL 0120-0-78310)
- 子ども・子育て応援ダイヤル  
(こころんだいやる)  
(TEL 077-524-2030)  
(毎日 9:00～21:00)  
(年末年始除く)

## こころの悩みの相談

- 滋賀いのちの電話  
(TEL 077-553-7387)  
金曜日・土曜日・日曜日  
10:00～22:00

その他相談先の一覧は  
こちらへ➡





## 【まとめ】

### 子ども・若者の自殺対策のさらなる推進・強化 (自殺総合大綱より)

子どもの自殺対策に対応していくチームとして学校、地域の支援者等が連携し、自殺対策にあたることができる仕組み等の構築

#### 「ゲートキーパー養成講座」

自殺や自殺に関連する正しい知識を持ち、自殺に危険を示すサインに気付く、声をかける、話を聞いたり、必要に応じて専門家につなぎ、見守ったりする「ゲートキーパー」の役割を担う人を養成する